



MACRO MAN

ファーストステップガイド

1. インストール
2. おすすめの設定
3. 基本操作
4. 変数とは
5. Excelコマンド
6. キーの入力コマンド
7. Webブラウザコマンド
8. 実行時の注意点

マクロマンのダウンロードから起動するまでの手順をご説明します。

操作手順

1. サイトから DL 申込をする

必要事項をご入力の上、ページ下部の【送信する】をクリックしてください。

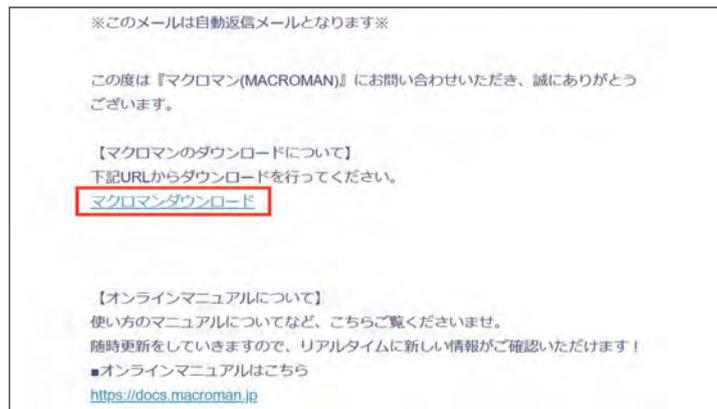
The screenshot shows a web form titled "マクロマンダウンロード申し込みフォーム" (Macroman Download Application Form). The form includes the following fields and elements:

- Header: "マクロマンダウンロード申し込みフォーム" and instructions: "フォーム送信完了後に、MACROMANダウンロードメールをご確認ください。" and "その他のご質問などは、お問い合わせフォームをご利用ください。"
- System Requirements: "<マクロマン 動作環境> OS:Windows10Proのみ、CPU:1.5Ghz 以上、メモリ:4G 以上、ハードディスク:1GB 以上の空き容量が必要"
- Form Fields (highlighted with a red box):
 - お名前*: 姓 (Last Name) and 名 (First Name)
 - フリガナ*: セイ (Romanized Last Name) and メイ (Romanized First Name)
 - 会社名* (Company Name)
 - 電話番号* (Phone Number): 入力例:0312345678(ハイフン不要)
 - メールアドレス* (Email Address): 入力例:cocoo@example.com
- Agreements: Two checkboxes for "「個人情報保護ポリシー」に同意する" and "「利用規約」に同意する".
- Submit Button: A button with a Macroman character icon and the text "送信する" (Send).

2. メールを確認する

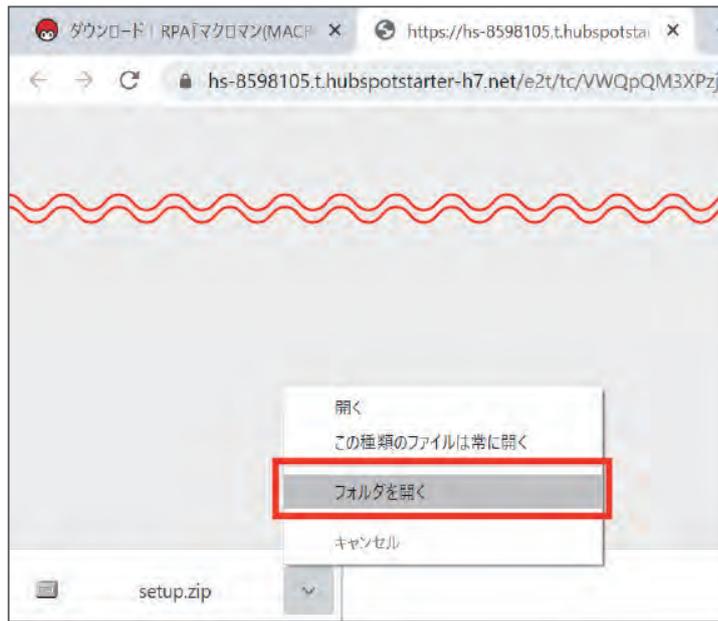
登録したメールアドレスの受信フォルダをご確認ください。

まれに迷惑メールフォルダに入っている可能性がありますので、受信フォルダにない場合は迷惑メールフォルダのご確認をお願いいたします。



3. マクロマンをダウンロードする

メール内の「マクロマンダウンロード」をクリックするとzipファイルのダウンロードが開始されます。

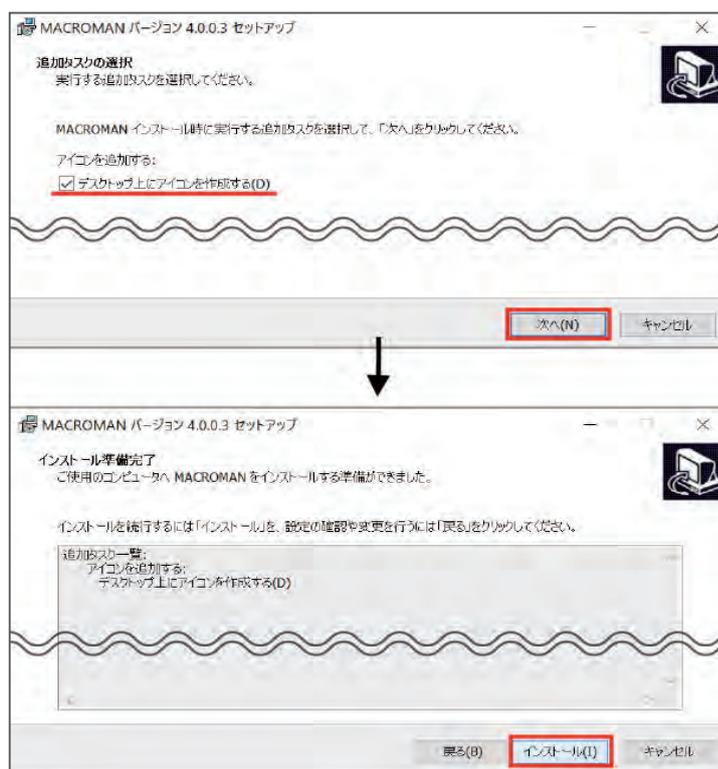


4. ダウンロード先のフォルダを開いて、zip を解凍する

<input type="checkbox"/> 名前	更新日時	種類	サイズ
MACROMAN_setup	2021/02/10 13:22	アプリケーション	21,979 KB

5. セットアップする

【デスクトップ上にアイコンを作成する】にチェックを入れておくことをオススメします。



6. マクロマンを起動する

【MACROMANを実行する】にチェックを入れておくと、
セットアップ終了時、自動的に起動します。

デスクトップに作成されたMACROMANのアイコンを「ダブルクリック」
または、「右クリック>開く」で 起動させることができます。

※ 5.セットアップする「_スペース_」の手順で「デスクトップにアイコンを置く」
にチェックを入れていない場合は以下から起動してください。

C:¥Program Files(x86)

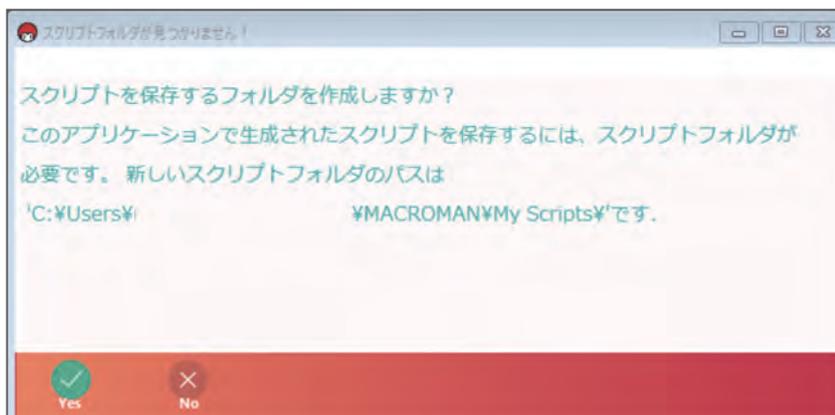
¥MACROMAN_ver4.0.0.3

¥MACROMAN.exe



起動後、スクリプトを保存するフォルダを作成するかどうかの案内が表示される
場合がありますので、必ず「Yes」を選択してください。

※案内が出ない場合もありますが、自動的に作成されているのでご安心ください。



→ | chapter 2 『おすすめの設定』

マクロマンを操作するにあたり、おすすめの事前設定をご説明します。

この設定を事前にする事で、より一層マクロマンでの開発がしやくなります。
ぜひ設定してから開発しましょう。

操作手順

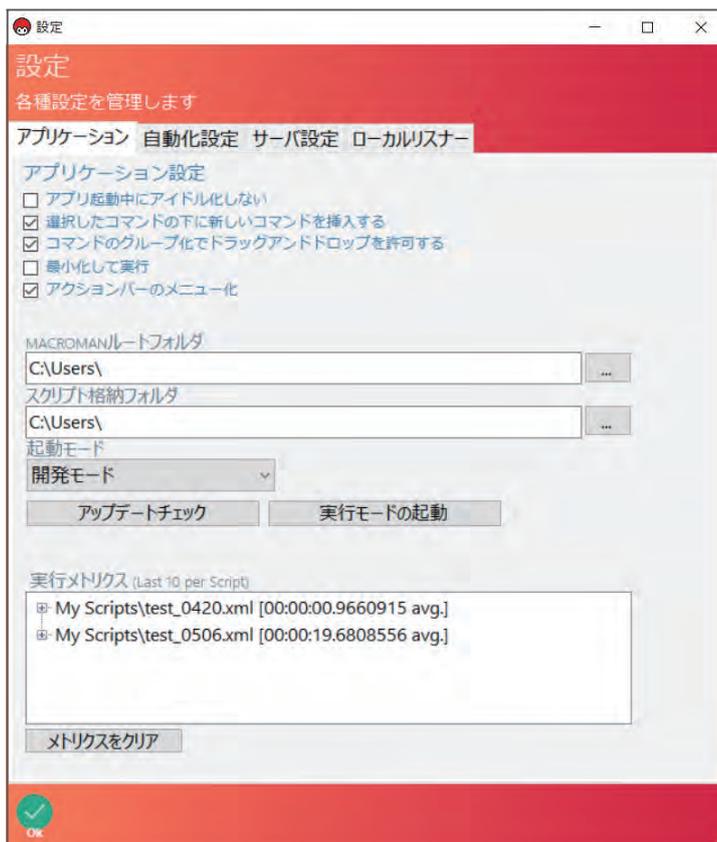
1. 設定画面を開く

オプション> 設定の順にクリックしましょう。



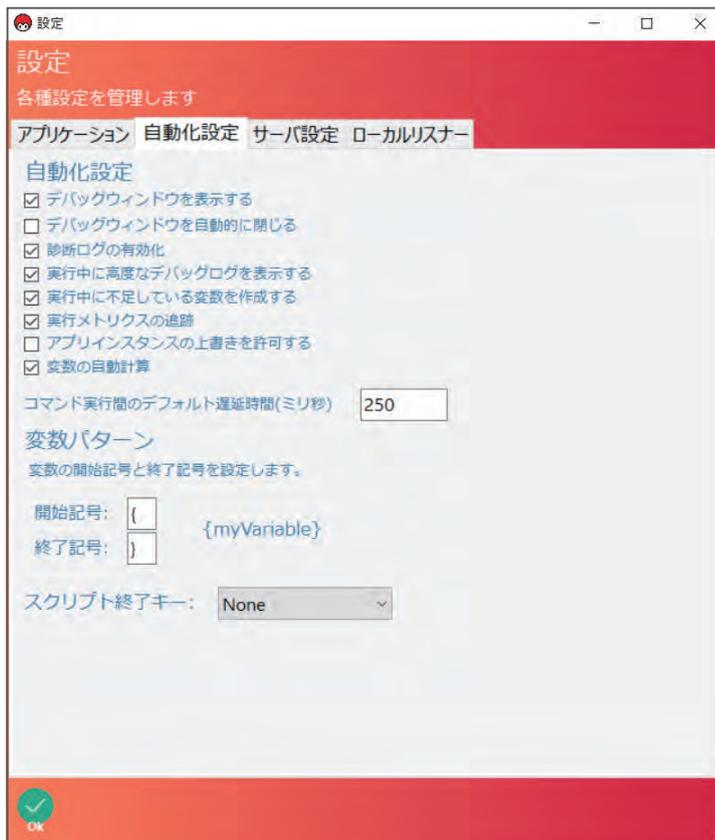
2. アプリケーションの設定をする

アプリケーションをクリックして開いたら、下の画像のとおりチェックをいれます。



3. 自動化設定をする

自動化設定を開いたら、右の画像のとおりチェックをいれます。これで設定の完了です。



チェック項目の説明

<アプリケーション設定>

■ アプリ起動中にアイドル化しない

…各コマンドに入力した値を常に確認することを停止できます。

■ 選択したコマンドの下に新しいコマンドを挿入する

…このチェックを外すと新しいコマンドは、最終行に挿入されます。

■ コマンドのグループ化でドラッグアンドドロップを許可する

…コマンドのグループ化コマンドで、既に入力済みの各コマンドをドラッグアンドドロップで挿入することを許可します。

■ 最小化して実行

…スクリプト実行時にスクリプト作成画面が最小化して実行します。

■ アクションバーのメニュー化

…アクションバーにあるボタンをメニュー化します。

<自動化設定>

■ **デバッグウィンドウを表示する**

…スクリプト実行時にデバッグウィンドウを表示させます。

■ **デバッグウィンドウを自動的に閉じる**

…表示したデバッグウィンドウをスクリプト終了時に自動的に閉じます。

■ **診断ログの有効化**

…診断ログ（トラブルシューティング時に必要なログ）を出力します。

■ **実行中に高度なデバッグログを表示する**

…デバッグウィンドウに詳細なログを表示します。

■ **実行中に不足している変数を作成する**

…変数を使用するように設定したコマンドに対し、変数が無かった場合に自動的に作成するようにします。

■ **実行メトリクスの追跡**

…実行メトリクス（スクリプト実行時の平均処理時間のデータなど）を取得します。

■ **アプリインスタンスの上書きを許可する**

…通常、複数のインスタンス名が必要な場合でも、1つのインスタンス名で処理することが可能になります。

■ **変数の自動計算**

…変数に定義された値を自動的に計算します。

■ **コマンド実行間のデフォルト遅延処理（ミリ秒）**

…スクリプト実行時にデバッグウィンドウを表示させます。

マクロマンの基本的な操作方法をご説明します。

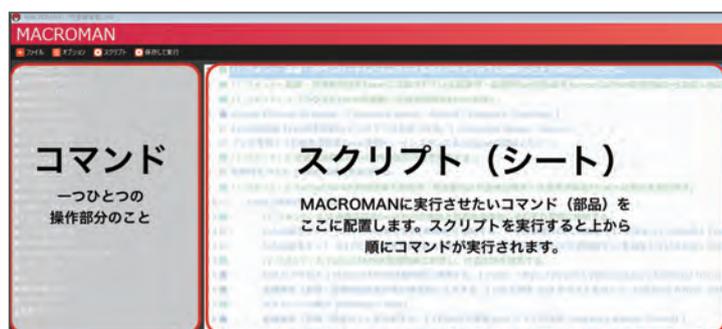
操作する前に

画面構成

左ペイン（左側のメニュー）：一つひとつの操作をするコマンドがあります。

右ペイン：コマンドを追加すると右ペインにスクリプトとして配置されます。

スクリプトは上から順に実行されます。



操作手順

1. 新規作成をする

ファイル> 新規作成で作成します。

※新規作成しますか? > 【はい】をクリックした後、特に画面に変化は起きませんが、入力を受け付けている状態になっているためそのまま作業を続けて問題ありません。



2. コマンドを追加する

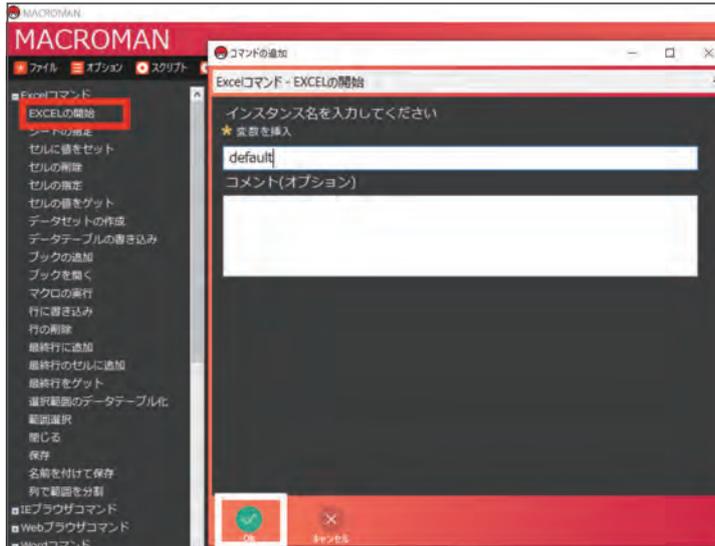
追加したいコマンドをダブルクリックします。

(今回はExcelコマンド> EXCELの開始コマンドを追加します)

必要項目を入力し、左下のOKをクリックすると、追加されます。

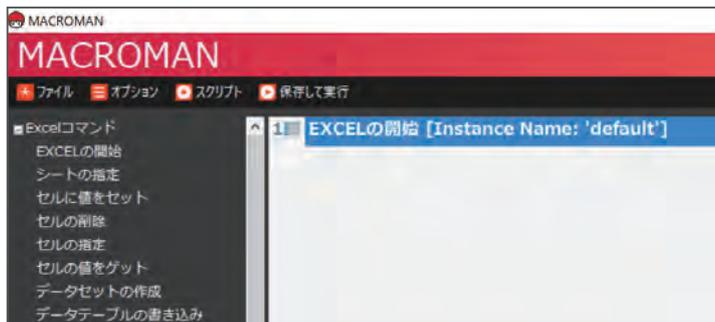
インスタンス名：「default」

※インスタンス名（タイトル）は使用するアプリケーションごとに統一してスクリプトを作成しておくこと、スムーズに実行できたり、エラーが発生しにくくなったりします。



3. コマンドを削除する

削除したいコマンドを選択して、キーボード上の[deleteキー]を押しましょう。

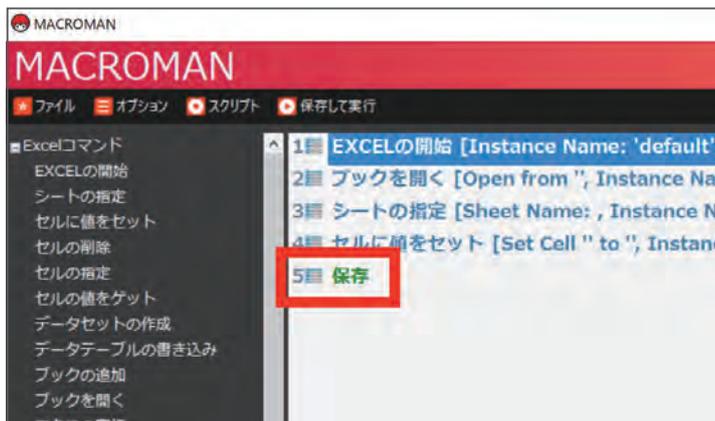
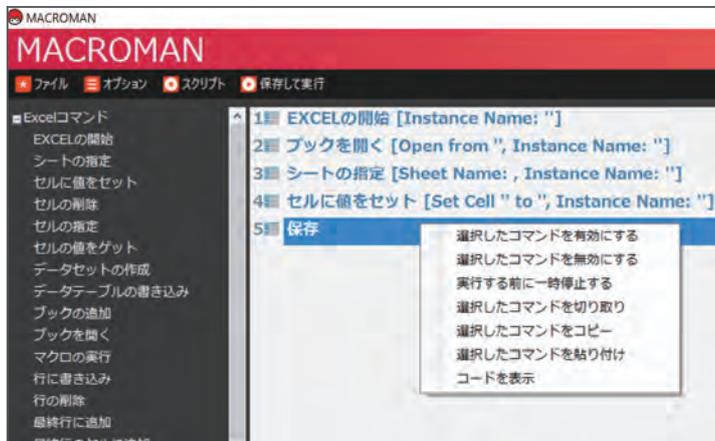


4. コマンドの有効／無効を選択する

追加したコマンドを削除はせず、有効もしくは無効にさせたい場合は該当するコマンドを選択して [右クリック] します。

無効にしたコマンドの文字色が緑色に変わります。

一度無効にしたコマンドを再度 [右クリック] して有効にすれば、元に戻ります。



5. コマンドを移動する

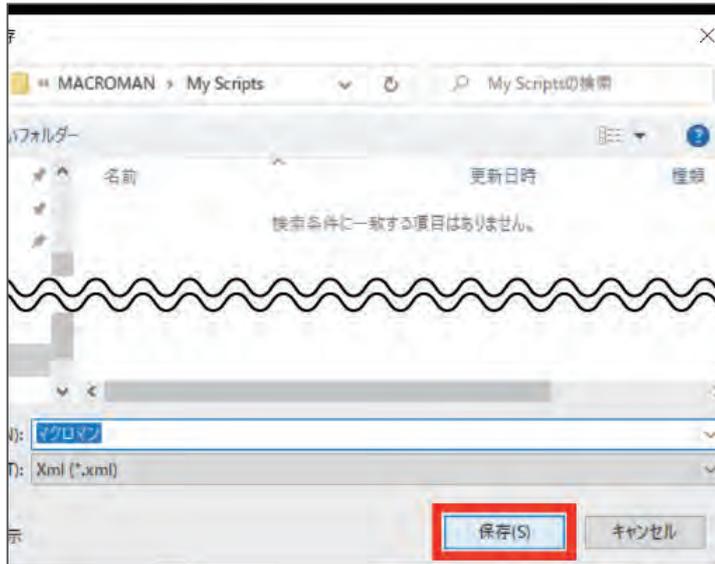
順番を移動させたいコマンドを選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます。

例) 画像の【* 4ブックを開く】を【* 1 EXCELの開始】と【* 2シートの指定】の間に入れたい場合は【* 2シートの指定】に重ねるようにドラッグ&ドロップすると正しく入ります。



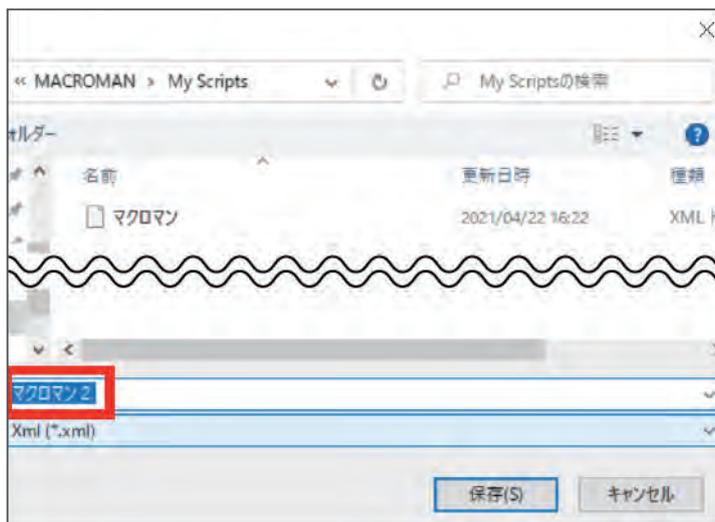
6. 保存する

ファイル>保存 でファイル名を決めて作成したスクリプトを保存します。



7. 別名保存する

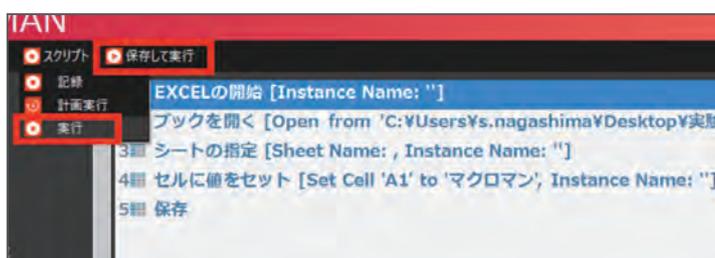
ファイル>別名保存 で元のファイルはそのままに、新しいファイル名をつけて保存することができます。



8. 実行する

スクリプト>実行 でスクリプトを実行させることができます。

ただし、スクリプト>実行 は保存される前のスクリプトで実行されるため、【保存して実行】から実行することをおすすめします。



9. スクリプトの開き方

ファイル>開く で必要なファイル名を選択して開きます。

画面中央にある【最近使用したファイル】から開くこともできます。



活用するとマクロマンの活躍の幅が広がる便利な変数についてご説明します。

POINT

1. 変数とは

- ・ 値を自由に出し入れしたり、何度でもデータを使用したりすることができます。
- ・ 用途別に名前を付けることができます。

頻繁に変数を使用するのは以下のコマンドです。

◆ Webブラウザコマンド	URLにアクセス
	セルに値をセット
	セルの値をゲット
◆ Excelコマンド	最終行をゲット
◆ ループコマンド	ループの開始(回数指定)
◆ 条件分岐コマンド	IFの開始 etc.

その他のコマンドで変数を使用できるかどうかは、プロパティ内に【*変数の挿入】などの項目があるかどうかで判断することができます。

2. 変数の作成方法

一つの空箱があって、「その空箱に名前を付けたり、もの(データ)の出し入れをしたりすることができる」というイメージでいるといいでしょう。

変数を定義(作成)する	空箱を作る
変数に名前を付ける(変数名)	箱に名前を付ける
変数にデータを格納する	箱にものをしまう
変数からデータを取り出す	箱からものを取り出す
変数にデータを入れる	箱にものを入れる

操作手順

・変数を追加する

オプション> 変数> 追加の順に操作します。



変数名の定義：わかりやすいように作成しましょう(後から変更することも可能です)。

変数のデフォルト値を定義：空欄で構いません(基準となる値が必要な場合は必ず入力しましょう)。



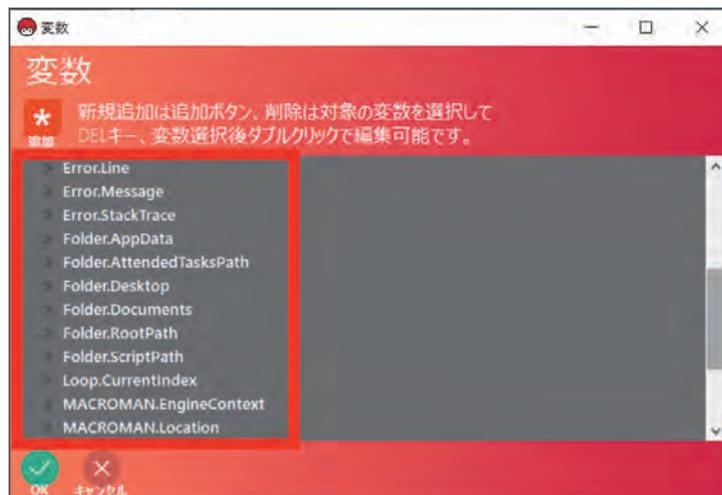
・デフォルト変数について

「Date」から始まるデフォルト変数はその名の通り、日付や時刻などに関する変数です。スクリプトを実行させて、いつ終了したのか記録を残す時に活用するのがおすすめです。



その他のデフォルト変数が何を表しているのか、ご紹介します。

Error.～	エラーに関する表示
Folder.～	フォルダがある場所
MACROMAN.～	マクロマンの場所
Loop.～	何回ループしたか
PC.～	起動しているPCの名前、ユーザー名など



Excel に関する「Excel コマンド」についてご説明します。

操作手順

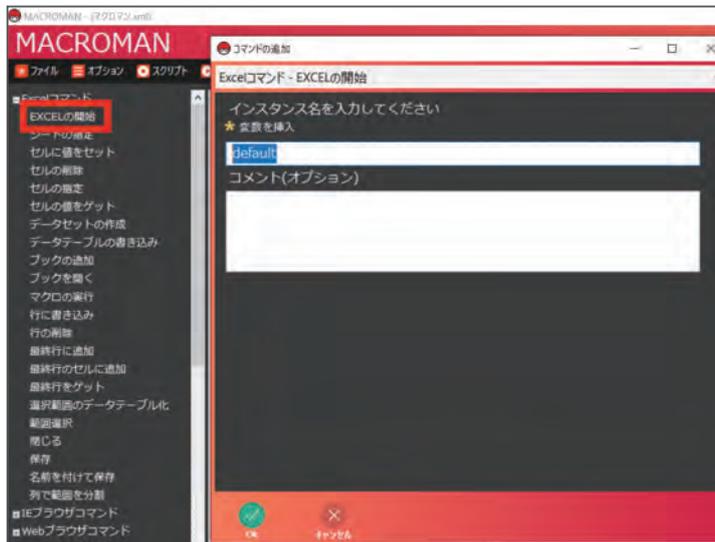
1. Excel を開始する

Excelコマンド> EXCELの開始コマンドを追加します。

マクロマンを使ってExcelを使用する際は必ず必要なので、忘れないようにしましょう。

インスタンス名：「default」とします。

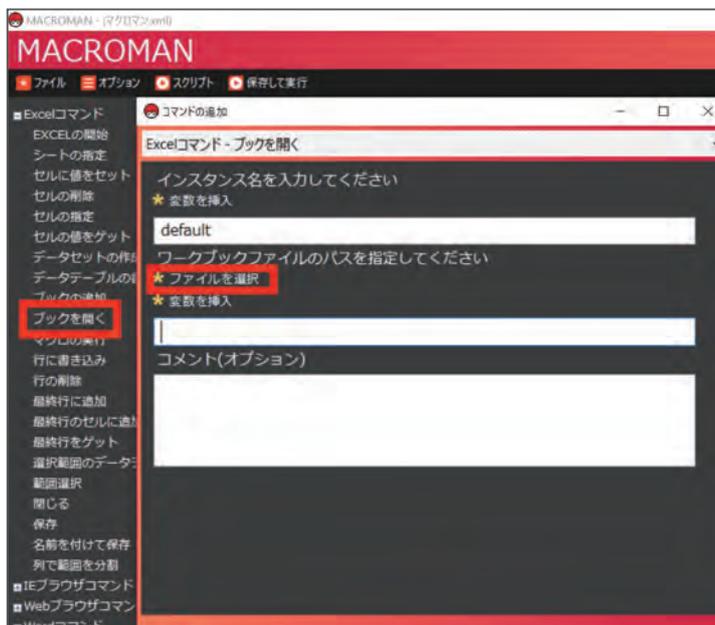
※今後Excel以外のアプリケーションも同じスクリプト上で使用する場合はアプリケーションのコマンドごとにインスタンス名を変えるとスムーズに実行できる場合があります。



2. ブックを開く

Excelコマンド> ブックを開くコマンドを追加します。

【* ファイルを選択】から開きたいブックを選択しましょう。

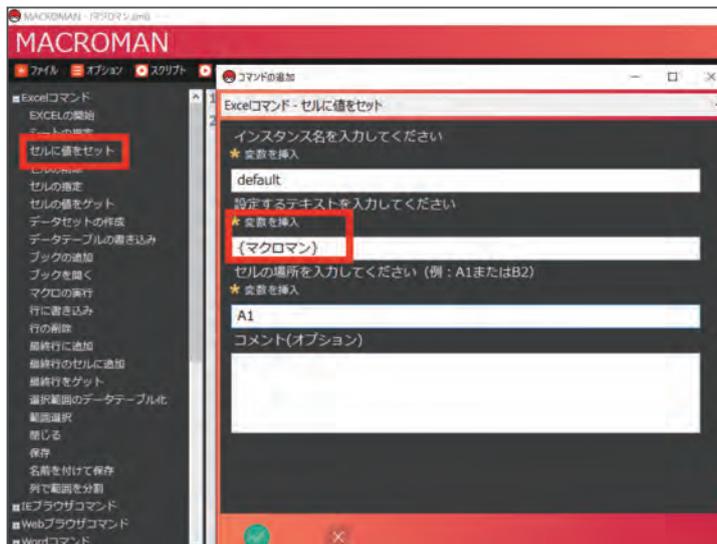


3. セルに値を入力する

Excelコマンド>セルに値をセットコマンドを追加します。

指定したセルに値を入力することができます。

直接入力することもできますが【*変数を挿入】から変数を挿入して活用するのがおすすめです！

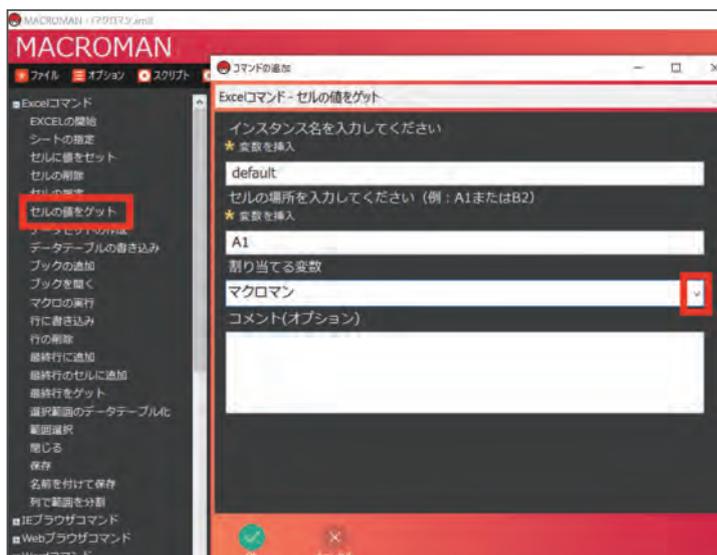


4. セルの値を取得する

Excelコマンド>セルの値をゲットコマンドを追加します。

指定したセルの値を取得することができます。

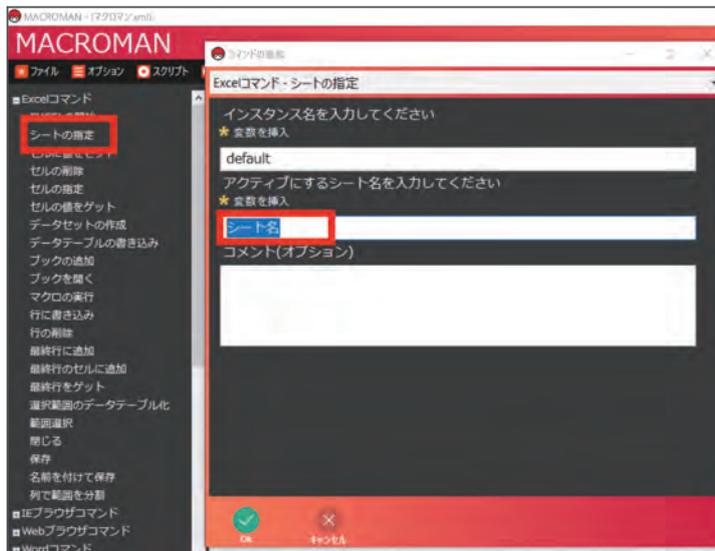
取得する値は【*変数を挿入】から変数を挿入して活用するのがおすすめです！



5. シートを指定する

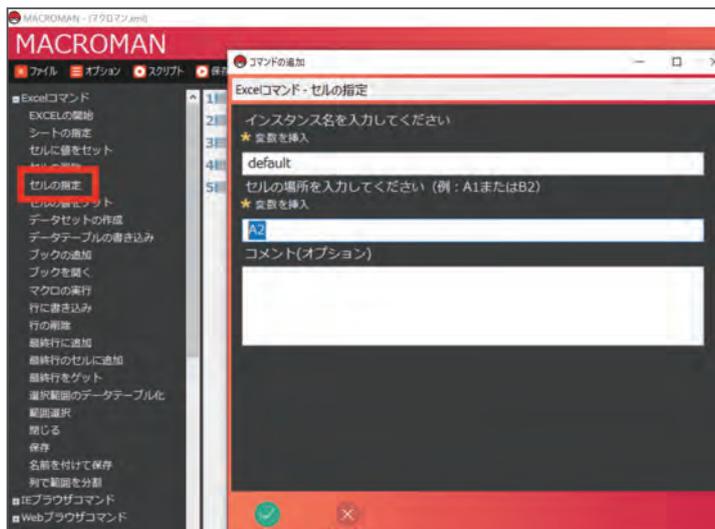
Excelコマンド>シートの指定コマンドを追加します。

選択したブックに複数のシートが存在する場合は必ずシートの指定をします。



6. セルを指定する

Excelコマンド>セルの指定コマンドを追加します。前述のセルに値をセットコマンド/セルの値をゲットコマンドでもセルを指定することができますが、このコマンドはセルを指定することのみ可能です。



7. 閉じる

Excelコマンド>閉じるコマンドを追加します。保存コマンドもありますが、このコマンドでは保存して閉じる/そのまま閉じるを選択して閉じることができます。



→ | chapter 6 『キーの入カコマンド』

キーボードで文字入力する際の動きを表現できるキーの入カコマンドについてご説明します。

このページで習得できること

このページでは、キーボード操作を学習しましょう。

入カコマンド>キーの入カコマンドを追加します。このコマンドは、指定したウィンドウ内のアクティブになっている箇所に対して、キーボードを操作するコマンドです。

以下の場合使用します。

- ・文字を直接入力する
- ・ショートカットキー操作をする

以下のスクリプトを作成します。

ex)メモ帳に文字を入力する。

- ①メモ帳を開く。
- ②メモ帳にテキストを入力する。
- ③入力したテキストをコピーする。
- ④Excelを起動する。
- ⑤Excelファイルを開く。
- ⑥コピーした文字を貼り付ける。

操作手順

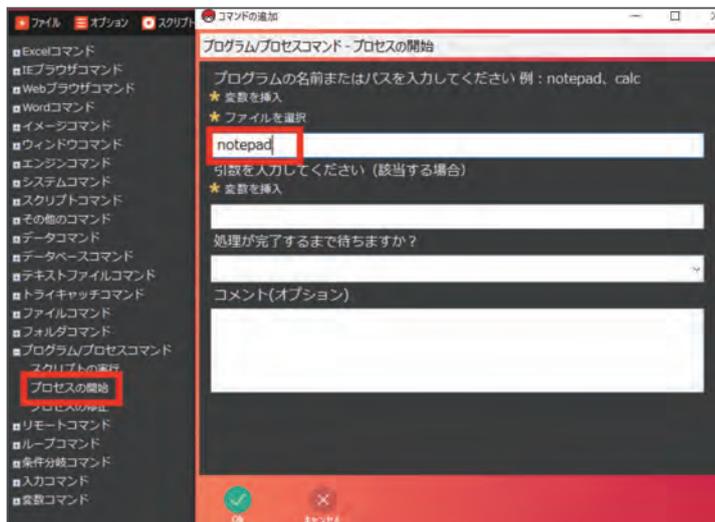
1. Excel ファイルを準備する

- ・空のExcelファイルを作成し、ファイル名をつけてデスクトップに保存しておきましょう。
(ここでは「Book1」としました)
- ・メモ帳を起動させましょう。



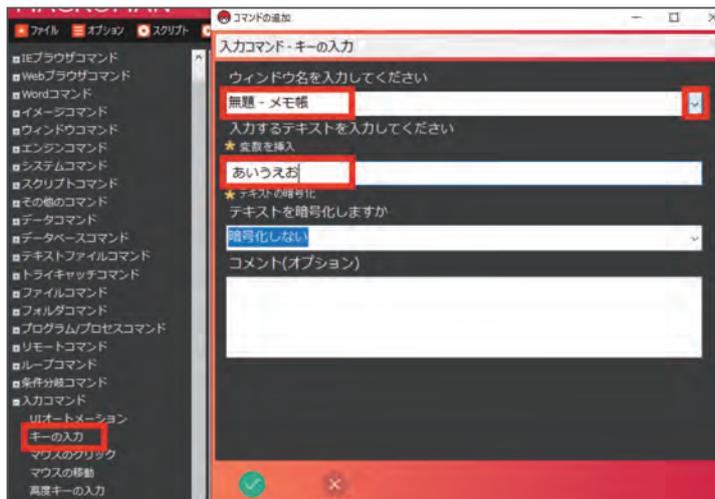
2. メモ帳を開く

プログラム/プロセスコマンド>プロセスの開始コマンドを追加します。
プログラムの名前：「notepad」とします。



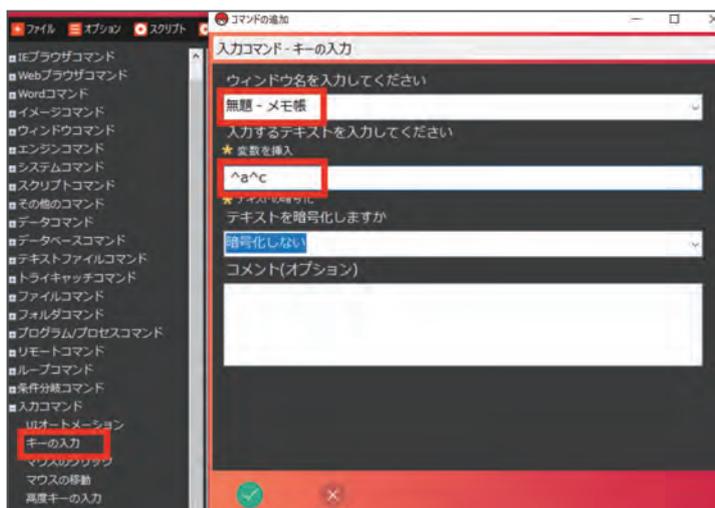
3. キーの入力コマンドを設定する

入力コマンド>キーの入力コマンドを追加します。ウィンドウ名：「無題-メモ帳」を選択します。
※メモ帳が開かれていないと選択できません。入力するテキスト：「あいうえお」とします。



4. ショートカットキー操作でコピーする

入力コマンド>キーの入力コマンドを追加します。ウィンドウ名：「無題 - メモ帳」
入力するテキスト：「^a^c」(全選択:Ctrl+A/コピー:Ctrl+C)



ショートカットキー操作をさせたい場合は、テキスト入力BOXに特殊キーを入力します。
特殊キーは以下の表をご参照ください。

特殊キー	コード{半角}	特殊キー	コード{半角}
Backspace	{BACKSPACE}{BS}{BKSP}	Break	{BREAK}
Caps Lock	{CAPSLOCK}	Delete	{DELETE}{DEL}
↓矢印キー	{DOWN}	↑矢印キー	{UP}
←矢印キー	{LEFT}	→矢印キー	{RIGHT}
End	{END}	Enter	{ENTER}
Esc	{ESC}	Help	{HELP}
Home	{HOME}	Insert	{INSERT}{INS}
Num Lock	{NUMLOCK}	Page Down	{PGDN}
Page Up	{PGUP}	Print Screen	{PRTSC}
Scroll Lock	{SCROLLLOCK}	Tab	{TAB}
F1~F12	{F1}~{F12}	+	{+}
-()	-{半角マイナス}	Space	(半角スペース)
Alt	%	Ctrl	^
Shift	+	Windowsキー	{WIN_KEY}

・複数回入力するときは、半角スペースと回数分の数字を付け加えます。

例) Tabキーを5回押す→{TAB 5}

・ショートカットキーを入力する際は、アルファベットを小文字入力します。

例) Ctrl+C(コピー)→^ c / Ctrl+V(貼り付け)→^ v

・Shiftキーを押したままEキー、Cキーを順に押すとき。

→ +(EC)

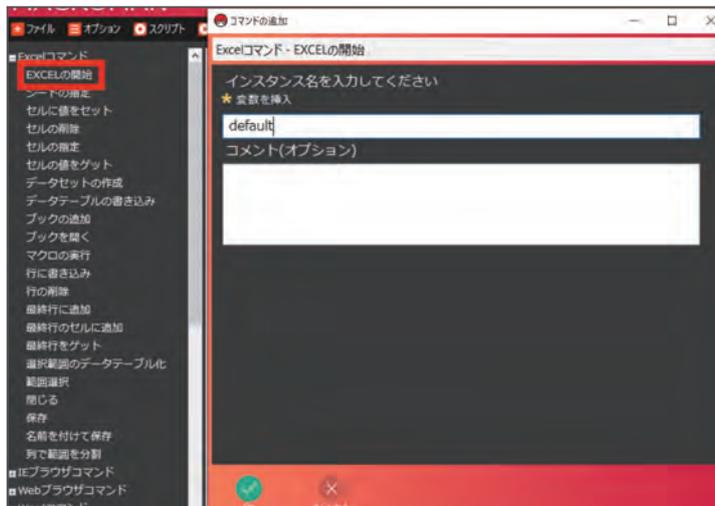
・Shiftキーを押したままEキーを押したあと、Shiftキーを離してCキーを押すとき。

→ +ECと指定します。

5. Excelを開始する

Excelコマンド> EXCELの開始コマンドを追加します。

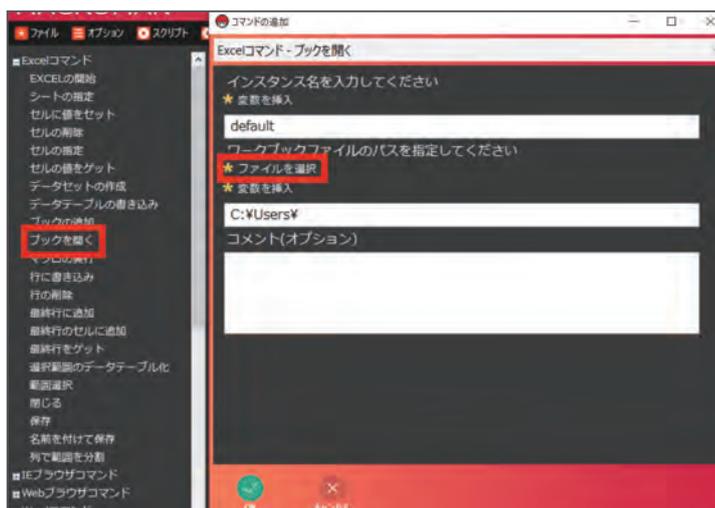
インスタンス名：「default」とします。



6. ブックを開く

Excelコマンド>ブックを開くコマンドを追加します。

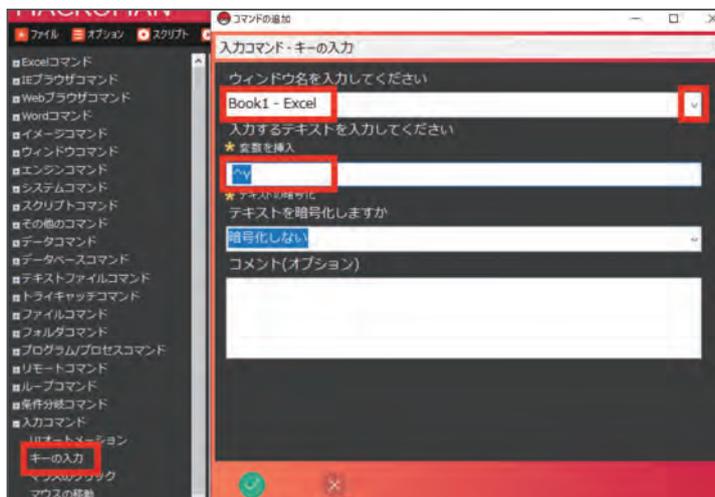
【*ファイルを選択】から開きたいブックを選択しましょう。



7. ショートカットキー操作で貼り付けする

入力コマンド>キーの入力コマンドを追加します。ウィンドウ名：「Book1 - Excel」

入力するテキスト：「^v」（貼り付け→Ctrl+V）



→ | chapter 7 『Web ブラウザコマンド』

Web ブラウザに関する「Web ブラウザコマンド」についてご説明します。

このページで習得できること

このページでは Web ブラウザの操作を学びます。

以下のスクリプトを作成しましょう。

- ① Chrome を起動する。
- ② マクロマンの公式ダウンロードサイトにアクセスする (<https://www.macroman.jp/>)。
- ③ ダウンロードボタンをクリックする。



スクリプト作成する前に知っておきたいこと

ここではGoogleChrome内でXPathを使用する方法を例に説明します。

1. Web操作の方法は3つ！

- ① クリック対象の画像が見つかったときにクリックする（画像認識）。
- ② 事前に指定した座標をクリックする（座標指定）。
- ③ HTMLコード（開発者ツール）を読み込んでクリック対象を探し、見つかったときにクリックする（オブジェクト認識）。

この中であれば、3つ目のHTMLコードを読む方法（オブジェクト認識）がもっとも正確な処理が可能です。オブジェクト認識を利用することが、安定性のあるツールをつくるポイントです。

2. HTML とは？

HTMLはWebページを作成するためのプログラミング言語です。

ほぼ必ずと言っていいほど、Web上のページはHTMLで出来ています。

ここでは、HTMLの全文を理解する必要は全くありません。

Webページは、HTMLコードで出来ているというイメージだけ掴んでください。



3. HTMLってどうやったら見ることができるの？

HTMLコード（開発者ツール）は、Webページで以下のいずれかのキーボード操作を行えば見ることができます。

- ・ F12キー／fn+F12キー
- ・ 右クリック>ソースの表示(V)をクリック

HTMLコード（開発者ツール）を開いてみましょう！



4. マクロマンが処理をする流れ

クリック操作を例に挙げて説明します。

クリックが実行されると、マクロマンはこの膨大なHTMLコードの中からXPathなどを使用して、クリック対象(要素)を検索しに行きます。

そして、クリック対象(要素)が見つかった時にクリックします。

※XPathとはざっくりいうと、クリック対象(要素)を検索するための「住所」のことです。

5. 要素の検索方法

HTMLコード画面上で [Ctrl+Shift+C] を使って、

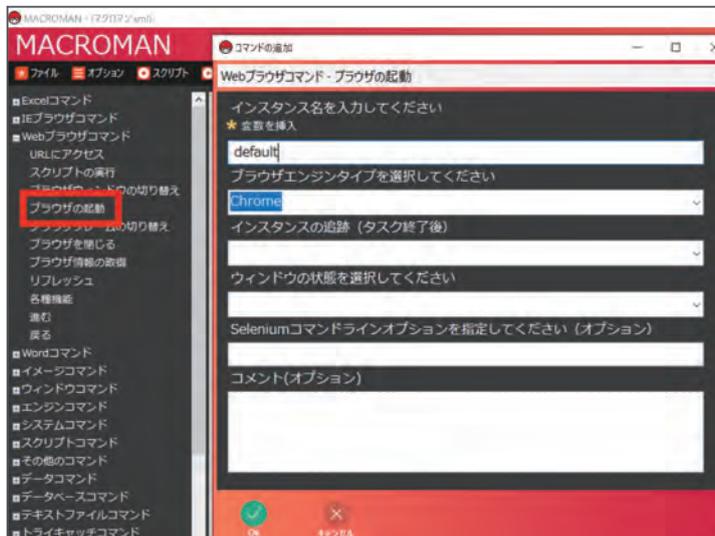
サイト上でマウスポインタを合わせると、その要素の箇所を教えてください！

操作手順

1. ブラウザを起動する

Webブラウザコマンド>ブラウザの起動コマンドを追加します。

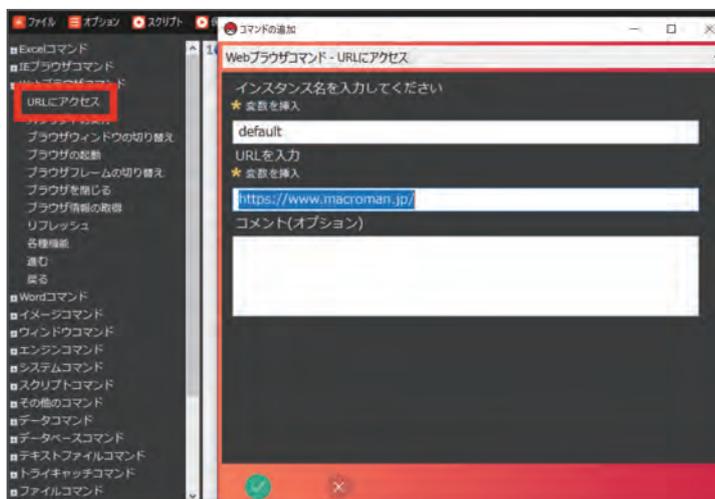
マクロマンでWebを使用する際は必ず必要なので忘れないようにしましょう。



2. URL にアクセスする

Webブラウザコマンド>URLにアクセスコマンドを追加します。

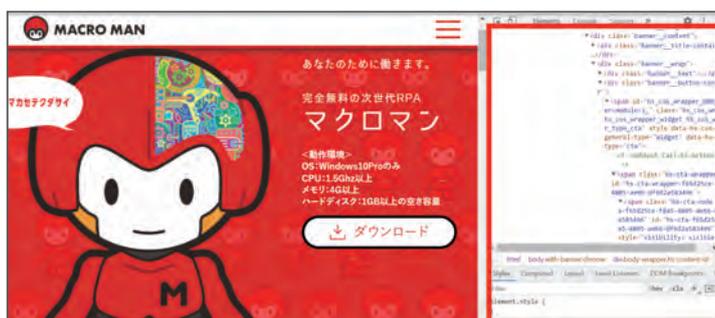
アクセスしたいURLを入力しましょう。



3. ダウンロードをクリックする

・XPathを取得する。

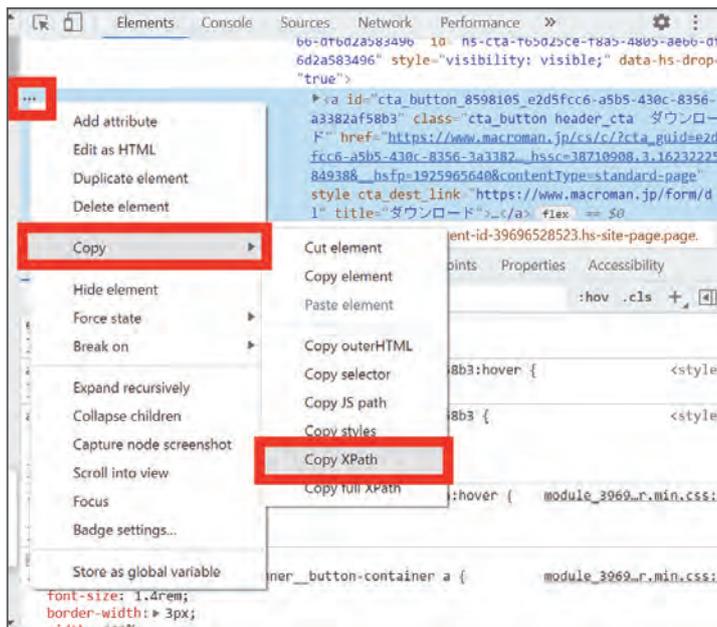
<Webページ上での操作> 前述 3.にてご説明した方法でHTMLコード（開発者ツール）を開きます。



[Ctrl+Shift+C] を使って、サイト上で必要な要素にマウスポインタを合わせましょう。



「…」をクリックして、Copy>Copy XPath でその要素のコードを取得（コピー）することができます。

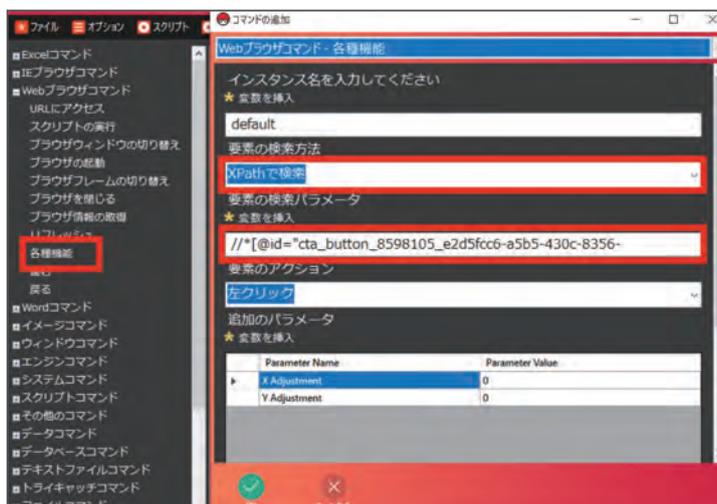


＜マクロマン上での操作＞

Webブラウザコマンド＞各種機能コマンドを追加します。

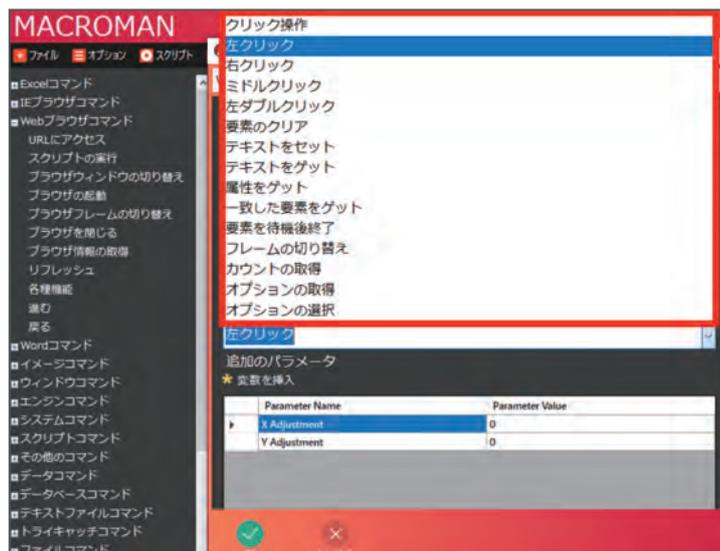
要素の検索方法【XPathで検索】

要素の検索パラメータ【WebからコピーしたXPath】



・要素のアクション

指定したXPathをどう操作したいのか、選ぶことができます。



スクリプトを実行する前に、推奨する PC の設定をご説明します。

前提

マクロマンの設定に加え、PC の設定もマクロマン実行のエラー原因になる場合があります。あらかじめ必要となる設定と環境を整えてから開発をしましょう。

設定方法

スクリーンセーバーの OFF

マクロマンはPCの画面がONの状態で行います。

そのため、スクリーンセーバーにより自動的に画面がOFFになると、実行しているスクリプトが停止してしまいます。スクリーンセーバーはOFFにしてマクロマンを実行させましょう。

スクリーンセーバーの無効手順

スクリーンセーバー設定(スタート>設定>個人用設定>画面ロック)の画面で【スクリーンセーバー：なし】を選択しましょう。※全てのPCを対象にした方法ではありません。

設定ができない場合はヘルプなどをご確認をお願いします。



ポップアップ表示のOFF

ポップアップウィンドウをOFFにしましょう。

画像を取得するスクリプトを書いた場合、取得する画像と同じ座標にポップアップが出ることで、マクロマンがそのポップアップを画像と誤認識してしまうためです。

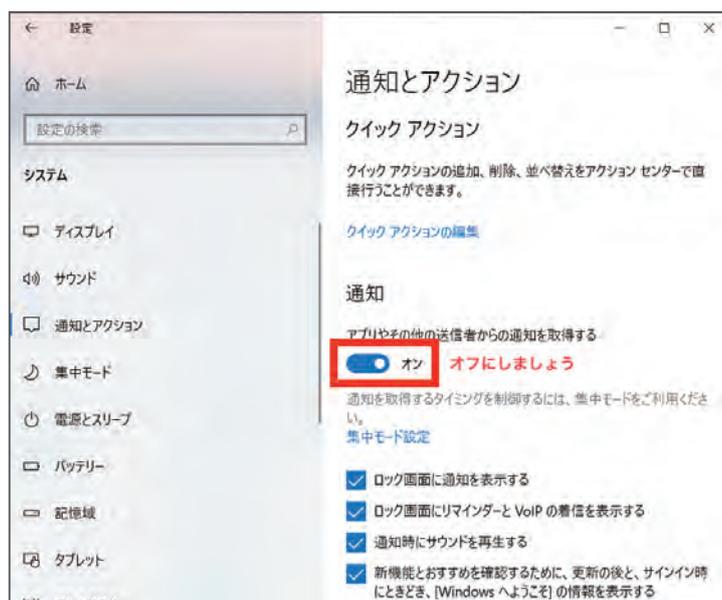
また、マクロマンでは最前面にあるウィンドウに対して行うコマンドもあります。ポップアップが出ることで認識させたいウィンドウではないウィンドウが操作対象になることを防ぎます。

ポップアップの非表示手順

通知とアクション設定(スタート>設定>システム)の画面で、【通知】をオフにしましょう。

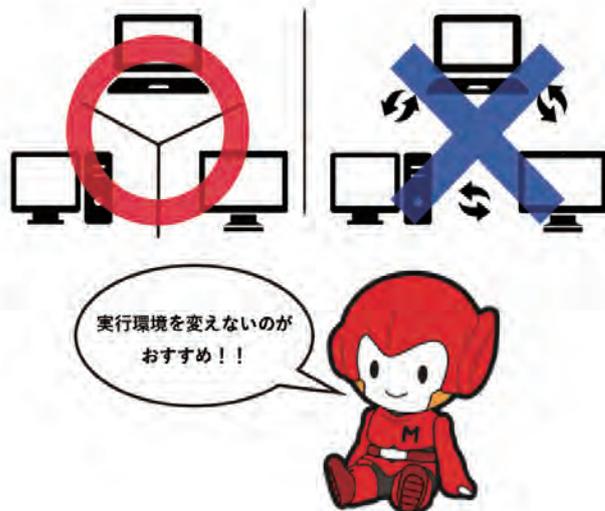
※全てのPCを対象にした方法ではありません。

設定ができない場合はヘルプなどでご確認をお願いします。



実行環境を変えない

実行するPCを変えないようにしましょう。開発PCを変えてしまうと、せっかく作ったスクリプトがエラーを起こす場合があります。マクロマンでスクリプト作成を行う場合、可能であれば実行環境と開発環境を同じにすることが望ましいです。画面サイズやデュアルモニターの使用有無によってスクリプトに影響がでる場合があります。必ず、開発の最初から最後まで同じPCで完結するようにしましょう。



完全無料の次世代RPAツール「マクロマン」 ファーストステップガイド 第1版

発行：2021年7月1日

発行元：コクー株式会社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3丁目29

帝国書院ビル 5階

営業時間：9:30～18:00

TEL：03-3527-1167

FAX：03-6732-3250

URL：<https://www.macroman.jp/>

▼お問合せ先（<https://www.macroman.jp/form/contact>）



- ・本資料の記載内容（図表・文章を含む一切の情報）の著作権を含む一切の権利はコクー株式会社に属します。また、記載内容の全部または一部について、許可なく使用・転載・複製・再配布・再出版等を行うことはできません。
- ・本内容に関するお問い合わせは上記二次元コードよりお願いいたします。